



friendship force  
WESTERN TOKYO

July, 2014

第19号



ピアリッツ市庁舎前にて



ピアリッツクラブ(仏)渡航交換特集 2014/5/17-24

ED 石井健二

FF交換、特にリターン渡航ならではの気安さ、交流の親密さ、和やかさ、もてなしを満喫しました。一週間寝食・行動を共にして様々な話題について、言葉の壁を乗り越えて会話を交わし、通常の旅行では訪れることがない場所も案内頂き、料理やマーケットなど日常生活の一端に触れることができ、渡航者全員の心に深く残る旅になったと思います。ホスト、デイホスト、ディナーホスト間の連携、男性・女性間の協力など我々の交換にも大変に参考になりました。

参加者:ED石井健二、サブED菅沼益子、石井嗣代、稲垣朋子、今村佐知子、大木恵美、加藤幸子、菊池美天、工藤澄子、佐原泰子、高石美保子、富長健治、西村千織、松塚邦子、虫明陽子、坂本淑幸(新潟クラブ)

## 日程表

|      |                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------|
| 5/17 | 羽田発深夜便                                                             |
| 18   | パリ着乗り継ぎ、ホームパーティ                                                    |
| 19   | La Rhun山、St Jean de Luz港町、ルイ14世教会、Basque伝統生活・工芸品展示館、歓迎会            |
| 20   | Bayonne(中世からの市街、St Marie大聖堂、生ハム工房)                                 |
| 21   | Biarritz(港、市庁舎訪問)、昼食会、自由行動、ホテルデュパレ(元Napoleon3世宮殿)、西東京ク招待食事会        |
| 22   | Basque/Cambo (Rostand邸)、山小屋で羊BQパーティ、Esprette町(チョコレート工房、市街)、ホームパーティ |
| 23   | ホストと自由行動、送別会                                                       |
| 24   | 解散、スペイン組はIrunまでドライブ、市内案内                                           |

## 1日目

東京(羽田)22:15発ーパリ(CDG)5/18(日)04:00着

パリ(ORY)13:50発ービアリッツ15:05着

長いフライト後、2年前にお会いした懐かしいビアリッツクラブメンバーのお出迎えを受け其々のホストのお宅へ向う。松塚さんと高石さんのホストの方々と一緒に我が家のホストAnita & Jeanの美味しい手料理、シャンパン、ワイン、郷土料理に夜遅くまで酔いしれました。(加藤幸子)



## 2日目

2日目はウエルカムparty。バスクダンス、白の上下に赤のスカート、バスクカラー? テーブルに移り、dinner & talking. 大木会員の日本の歌が美しく響きわたり、皆うっとり。何とも楽しい夜だった。(工藤澄子)



## 3日目

この日はバイヨヌ地方を回る。アドゥール川とニーヴ川の合流地点にある地域で、紀元前からローマ人の侵攻に遭い今でも当時の堀の跡が残っている。市庁舎、大聖堂、美術館や博物館を見学。有名なホットチョコレートを頂きながら幸せ気分に浸り、生ハム工場も見学。生ハムの試食はあっという間に無くなり、あとはお土産を買う行列となった。(佐原泰子)



## 4日目

4日目は市内見学、小雨のぱらつく朝、海岸の先を上って行くと、ビアリッツの象徴とも思われるマリア像が岬の先端に微笑んでいる。市庁舎を訪問してから手長海老のフランス料理を堪能してから、ナポレオン三世が滞在していたパレスホテルへ。ゴージャスなシャンデリアの下にはゆったりと椅子が並び、素敵なカーテンがかかった窓からは、雨がやみ明るい日差しのビアリッツの海が輝いていた。(大木恵美)



## 5日目

5日目はバスク村を訪れ、バスクの文化・雰囲気を堪能した。バイヨンヌから南へ約30kmのところに、バスクの文化を色濃く残した村カンボ・レ・バンがあり、そこには「シラノ・ド・ベルジュラック」を書いたエドモン・ロスタンの館が保存されていた。昼食はバスクの伝統料理「子羊の焼き肉」を楽しみ、午後には同じく近くのバスク村(エスペレット)にて昔ながらの造り方をしているチョコレート工場を見学した。写真の背景はエドモン・ロスタンの館。(富長健治)



## 6日目

6日目はまずバスクダンスの披露、幼い子供から若者まで、相当な練習を重ねたとすぐに見て取れた。続いて「シラノ・ド・ベルジュラック」の一コマを寸劇で。フランスと日本の国旗が垂れる会場で美味な料理と楽しい会話は続いた。(高石美保子)



## 7日目

いよいよ最終日、私のホストのやさしくてチャーミングなブリジッタさんとも、今日でお別れ、お世話になりました。イルン駅から次のバルセロナへ出発。ビアリッツ フレンドシップの皆様のお見送りをうけ、沢山の楽しい思い出をありがとう。(松塚邦子)



## ガーナ大統領になったMr.Mahama訪問 (佐原 泰子)

21年前 アフリカ・ガーナの日本大使館職員である若者を受け入れました。外務省の研修で来日した彼は物静かで礼儀正しいMr.John Mahama さん。それから12年後、“ガーナの John Mahamaさんが来日しますが会えますか?”突然外務省からの電話。数時間の再会でしたが政治家となった彼は忙しく帰国しました。それからまた9年。偶然インターネットで彼がガーナ共和国の大統領になったことを知り“おめでとう!!”のメールに“ありがとう!!YASUKO sanガーナに来てください”の返信。そしてとうとうFFのメンバーとガーナを訪れることになったのです。彼は大変喜んで下さり言葉で言い尽くせないほどのおもてなしで迎えてくださいました。遠く離れた家族にやっと会えたような、とても懐かしく嬉しくて、別れ難い大切な出会いがあった事。そして何年経っても覚えていてくださっていたマハマさん、本当に感謝しています。



6月29日、30日札幌のホテルロイトンにて開催され、西東京クラブからは石井会長はじめ7名参加、代表者会議は21クラブの出席、全体会議は会員201名と台湾・新竹クラブより5名の参加でした。開催を立候補された札幌クラブの進行は、とてもきばきして分かり易く、楽しく充実した内容の大会でした。

代表者会議では、FFホームページ管理変更について、2点が承認されました。

1: 金元さんと本多さん(北日本ブロックFR蓋さんの友人)が共同管理

2: ホームページ管理費の各クラブの支払金額を、クラブ規模によって決める

全体会議ではFFI会長JOYさんより、現状は世界で会員は15,000人位、交換に積極的に参加しているのは5,000人位。2012年～2014年計画、「Global Exchange」「Global Expansion Plan」「SNS, Googleを媒体」等についてのお話がありました。親睦会では、札幌クラブ小泉会長の娘さんのピアノ演奏などの後、札幌クラブよりソーラン節の出し物があり、参加者も舞台上上がって一緒にソーラン節を踊り、盛り上がりしました。



## A ポストツアー 札幌・小樽コース 山本敏雄

ジョイ会長と各クラブから25名がこのコースに参加、赤レンガ庁舎、時計台、札幌ドーム、羊ヶ丘展望台、大倉山ジャンプ競技場での風景を楽しんだ後、札幌中央卸売場外市場で昼食となりました。うに、いくら、アワビ、かに、マグロ、ヒラメ、ホタテ等のたっぷり入った海鮮丼には大満足。午後からは小樽にバスを走らせ、鯉御殿を見学し鯉で栄えた当時の北海道をしのびました。観光客あふれる小樽運河で記念撮影後、小樽駅より新千歳空港行のJRで帰途につきました。すがすがしい天気で1日を満喫しました。



## B ポストツアー 旭山富良野コース 石井嗣代

朝7時半出発、旭山動物園にまず向かいました。札幌クラブの方が1台に6人乗って、折々に説明しながら賑やかに走ります。旭山動物園ではアザラシのトンネルやキリンの目の高さの見物席、オランウータンの空中散歩などを楽しみました。

午後は美瑛のパッチワーク農園を見物し富良野へ向かいました。その頃からすっかりお天気が良くなり、素晴らしい咲き始めのラベンダー畑を楽しみ、札幌駅には予定通り5時半に着くことができました。

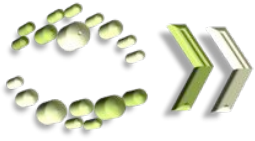


## C ポストツアー ニセココース 高垣 孝

若いときにスキーを楽しんだニセコに、初めて夏の新緑の自然を楽しむため、今回このバスツアーに参加しました。札幌市内から定山溪、中山峠を越えて京極ふきだし公園、そこから真狩村に行きアスパラガス等の買物の後、地元の旬の食材をベースにしたフランス料理。周囲はニセコ連峰が見える風光明媚な景色で、2008年の洞爺湖G8サミットのときに、首脳婦人達が昼食を楽しんだと言われるだけのことはありました。

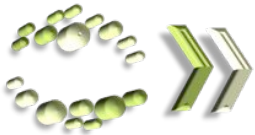
午後はニッカウスキー発祥の地、余市へ行きウスキー工場の見学と試飲、ここで1934年にウスキー工場を創立した竹鶴政孝と妻リタの物語を知りました。今秋から始まるNHKの朝ドラ「まっさん」の舞台です。帰りは小樽の中心街を通過して、古い石造りのニシンの倉庫群、ニシン御殿等を車窓から見学。元バスガイドの会員の懇切丁寧でユーモア溢れるガイドで、北海道・アイヌの歴史、北海道方言等も学ぶことができ、大変有意義なツアーでした。





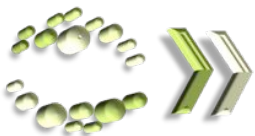
## 2月 定例総会報告 石井健二

2月1日(日)、町田駅そば「龍皇」で、会員28名出席のもと2014年度の定期総会を開催しました。昨年の活動報告、会計報告に続き、収支の健全化を計るための会費・会則の改訂が提案、承認され、本部へのクラブフィー支払方法等についても細則改訂が報告されました。続いて本年度の活動計画と予算が提案、承認された後、本年度役員を検討。永年ご尽力頂いた石田充、村上トシ子両役員の退任(有難うございました)、稲垣朋子、菅沼益子両会員の役員就任(その他の留任)を決定。総会後は楽しく歓談、午後三時に終了しました。



## 4月 弘法山ハイキング 八塚住子

4月7日。前日とは違って変わって絶好のハイキング日和。青い空に満開の桜。その向こうに冠雪の霊峰富士! 秦野駅から鶴巻温泉駅まで、約7キロを、休憩、昼食も含めておよそ5時間のコース。皆さん、途中珍しい花々を愛でる余裕もあって、ピアリッツ渡航の足慣らしとしては、自信を深められたのではないのでしょうか。総勢15名、話の花も満開でした。鶴巻温泉駅前到着が午後3時、お茶タイムにはちょうど良いタイミングでした。カフェレストランでしばらく休憩の後、お土産に秦野名物の落花生など買いこんでの帰宅となりました。



## 6月 鳥居家ハーブ園 中川貴文

6月22日、神奈川県は厚木の県自然環境保全センターに集合しました。あいにくの雨でしたが、きれいに整えられた木々を見ながら鳥居さんのハーブ園へ。広い敷地とたくさんのハーブに迎えられ、少し気圧されました。そこで丁寧な説明をしてくださり楽しい時間を過ごせました。その後苗を分けて頂けることに! 私はもちろんホップの苗を頂きましたよ。お昼ごはんではハーブティーを頂き、とても美味しかったです。晴れた日にまた散策してみたいと思いました。



## 永田末子

FF鳥取の友人の紹介で、4月より入会させていただきました。パソコンは苦手、英語はカタコトしか話せませんが好奇心と度胸だけはあります。どうぞよろしくお願いします。



## 松隈文子

40歳を過ぎて都立看護学校に入学し、病棟看護師として働いていました。親の介護で、定年を少し過ぎた時点で退職いたしました。

暦とは関係のない仕事のおかげで、安い旅行を楽しむ事ができました。多くの方々と身近に接する事が出来るクラブの魅力にひかれております。



## 大木恵美

多摩川台公園と丸子橋を東に小杉の高層マンションを南に見ながら、毎日を過ごしています。下手な歌を歌いながら、可愛いチワワと散歩するのが大好きです。

海外に行ったことが少ないので、皆さんが話す海外の話を、耳をダンボにして聞いて居ます。宜しくお願いします。



## 菊池美天 (みそら)

つくし野に住んでいます。趣味は登山、卓球、ガーデニング、旅行、食べ歩きです。フランス料理が大好きです。

## 市川良美

学生の時のペンフレンドとのレター交換をきっかけに国際交流に興味を持ち始めました。英語力がない私、ただシニアの図々しさだけで突っ走っています。この度、鳥居さんの紹介で御クラブに入会させていただき、はたまた私の夢に近づいたように思います。これからよろしくお願いします。



## お知らせ



## 編集後記

7月6日(日)

関東ブロック会議 MT.富士・山梨クラブ主催

場所は「エクシブ山中湖」にて午後2時から

10月10日(金)～17日(木)

受入 アメリカ・ノースイースト オハイオクラブ  
ED: 柳川 善一 Sub ED 加藤 幸子

多くの新しい会員がホスト・ファミリーを初体験です。

皆様どうぞ応援をよろしくお願いいたします。

10月14日(火)～16日(木)

FFI世界大会 ニュージーランド・オークランド

12月末

会報第20号発行

### 2015 渡航交換先が決定しました

カナダ

ケベック クラブ

EDは高垣孝さん、Sub EDは菅沼さんの予定です。



セントローレンス川から見たケベック市

### 2015 受入交換先が変更されました

ブラジル

サン・ジョゼ・ド・リオ・プレット クラブ

EDは虫明陽子さん、Sub EDは稲垣さんの予定です。

2015年世界大会は、カナダ・バンクーバーで  
9月11日～14日の予定です

西東京クラブ元会長の佐原泰子顧問がピアリッツへの渡航交換の帰途、何とイスタンブールまで遠回りして、招待を受けた旧知のガーナ大統領をアフリカへ訪問するというので大騒ぎ。石井嗣代、虫明陽子の両会員も同行と決まった。いくらふた昔前の青年時代に、佐原邸にホームステイしたとはいえ日程調整が心配だったが、行ってみるとすべて大統領専用の特別車による国賓扱いで、内容は3頁のコラムをご覧の通り。Friendship Forceが蒔いた国際交流の種が、見事に大輪の華と咲いた好例と誇っていいでしょう。今後も時間の許す限り、少しでも若い人たちの交換を進めたいと願っています。  
(広報担当 柳川善一)

例によってデザイン担当の中川です。今回はピアリッツや日本大会で北海道など、様々なイベントがもりだくさんであったようですね。おまけでスペインやガーナまで行ったようで、楽しいお話をたくさんいただきました。石井さんから聞いた“ダミダミダミ”が印象的でした。(NOという意味らしいです)うちの研究室の子供たちはスペインの大学出身者とフランス出身ですので、私ももう少し年を取ったらそこらに旅行に行きたいと思いました。

鳥居家のハーブ園へは両親共々お邪魔致しまして、楽しい時間を過ごせました。金沢の実家にホップの花が咲き乱れることを心より願っております。

今年はワールドカップイヤーです。大きなお祭りで世界を知るのも一興ですが、Friendship Forceを通した小さな個人同士の交流が大きく世界に広がればよいと思います。  
(広報補佐 中川貴文)

発行日:平成26年7月 第19号

発行者:ザ・フレンドシップフォース・西東京

川崎市宮前区宮前平3-12-8

Tel&Fax 044-852-5231

ホームページ

<http://ffjapan.org/wp/>